



# いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校  
学校便り  
第3号  
R5.4.20  
文責：佐藤

## 交通安全教室 ～いのちを守る岩城小～

お天気が不安定な日ではありましたが、17日（月）の3・4校時、由利本荘警察署佐藤様、北林様、交通指導隊の高野様、松屋様、渡部様をお招きして交通安全教室を行いました。低学年は、学校前の押しボタン式信号機を使って道路を横断し、最上町方面から磐田電工までの道を安全に歩いて戻ってくる練習をしました。中学年は、玄関前に設定したコースを使って、自転車の安全な乗り方や横断歩道の渡り方、障害物の避け方などの練習をしました。高学年は、赤平町内の一般道において、乗車の際の安全確認の仕方や見通しの悪い交差点での横断の仕方、坂道での運転の仕方などを指導してもらいました。



交通安全教室が終了しましたので、子どもたちはそれぞれの学年で決められた範囲内でヘルメットをかぶって自転車乗車が可能になります。自分の技術のレベルに合わせて、安全な運転を心がけてほしいと思います。自転車は便利で楽しい乗り物ではありますが、調子に乗って使い方を間違えると凶器になります。子どもたちが交通事故に遭わないよう、また、加害者になることのないよう、ご家庭での指導もよろしくお願いします。（裏面も参考にしてください。）

ご指導いただいたPボランティアの高橋様、善意でタイヤやブレーキの整備を行ってくださった伊藤博行様、自転車の運搬をしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

## 事後 ご指導いただいたこと

- 信号機が青になってもすぐに渡らずきちんと車が止まったのかを確認し、横断中も確認すること。
  - 横断歩道を渡るときは手を挙げる（一時期手を挙げないということがありましたが、今はまた変更になっています）。
  - 信号が点滅したら急いで渡るのではなく、止まること。
  - 歩道のない道路を歩くときはあまり端っこを歩かないこと（路肩が緩んでいることがあります）。
  - 自転車を操作していて上手く止まれない（前輪が定位置よりもオーバーする）子どもたちがいました。余裕をもって止まれるようにすること。
  - 自転車発進前の後方確認をする時には、左足を着けること（これにより体全体が左に傾き、車に巻き込まれにくくなります。車道と反対側に体を傾けることができるとよいです）。
- ※自転車の右側に立って操作している子どもがいました。車から身を守るために、自転車の左側に立つことが基本ですので、当然分かっているだろう・できているだろうではなく、再度確認してください。“いのちを守る岩城小”です！



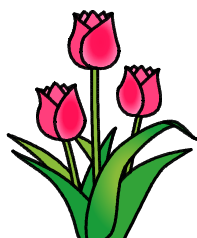
## 学校間連携コーディネーターによる 教育相談のお知らせ

今年度も、学校間連携コーディネーターが配置されていますので、お子さんの教育について（特に、進学にあたって）下記のような心配なことがありましたら、お気軽にご相談下さい。

保護者の方の相談に応じながら必要に応じた援助を行っていきます。さまざまなケースに応じて、スクールカウンセラーや特別支援コーディネーター、医療機関、進学先の学校などつなげていきます。

- 進路(進学・将来)に関すること
- 心や体の発達に関すること
- 勉強に関すること
- コミュニケーション(友達関係)に関すること
- 学習態度や生活態度に関すること

学校間連携コーディネーター  
山道 正人



- ☆ 面談可能日 毎週月曜日（完全予約制 1回約50分程度）
- ☆ 面談時間 午後1時～午後4時45分  
※これ以外については、相談に応じます。
- ☆ 予約連絡先 教頭（0184-62-5030）